

平成28年度 第3回 平塚市介護保険運営協議会 議事録

平成29年3月22日(水) 13:30~15:00

市庁舎本館6階 619会議室

出席者(出席委員)

前田副会長 熊澤委員 渡辺委員 西澤委員 尾上委員 大畑委員 柳川委員
小幡委員 内田委員 増井委員 石内委員 飯田委員 船水委員

(13名出席 欠席 上野会長 古尾谷委員)

(事務局)

中村福祉部長

(介護保険課) 河野介護保険課長 高梨課長代理 荒課長代理 細谷担当長
高橋主管 平田主任 田中主事

(高齢福祉課) 杉山担当長

I 開会

議事に入る前の報告事項

過半数の委員が出席しており平塚市介護保険運営協議会規則第3条第2項により会議は成立。また、傍聴者はなし。

II 議事

報告1 平成28年度介護保険事業の施行状況について

資料1に基づいて事務局説明。

《質問・意見》

1号保険者の内訳について、65歳以上74歳以下と75歳以上の割合を見ると、65歳以上74歳以下の割合が減ってきている。今後も減っていくのか。

〈事務局〉

ここ3か年で見ると1号保険者は増え続けているが、構成比としては75歳以上が65歳以上74歳以下より多くなっている。

《質問・意見》

75歳以上が増えているということは介護保険のサービスを必要とする人が増えていくということでもある。

1号被保険者に新たになる人が減っていくということは、先が見えてきたということか。

〈事務局〉

今後の人口推移を注視していきたい。

《質問・意見》

サービスごとの受給者数について、居宅サービスが減り地域密着型サービスが増えているが、利用者が移ったのか。

〈事務局〉

制度改正により平成28年度から小規模なデイサービスのサービス種別が居宅から地域密着型に変わったため、受けているサービスが変わっていても統計的にそう見えている。

《質問・意見》

ひとりあたりのサービス費が居宅・地域密着両サービスとも減っているのはなぜか。

〈事務局〉

地域密着型サービスは今までは給付額の大きいサービスが多かったが、デイサービスだけになると給付費は減る。また、平成28年から総合事業も始まったのでその影響もあるのではないかと考えている。

《質問・意見》

人口や給付費の増減を把握し、介護保険制度の存続可能性や自治体の財源が持つのか等、今後の介護保険のありかたについて平塚市としてどうしていくのか考えていくべきでは。

<事務局>

平成29年が次期計画の策定年度であるので、その中で検討していきたい。

《質問・意見》

居宅サービスや地域密着型サービスのよう施設サービスでも要介護度別の表を作ってほしい。

また、経過的要介護の取扱いについて、今の標記ではわかりにくいので説明を一文付け加えた方がよい。

先ほど出た話だが、1号保険者における65歳以上74歳以下と75歳以上の割合は全国的には拮抗している。

<事務局>

資料については次回までに対応いたしたい。

報告2 平成29年度介護保険事業特別会計予算について

資料2に基づいて事務局説明。

《質問・意見》

特になし。

報告3 地域密着型サービスの指定更新について ※非公開案件

議案1 地域密着型サービスの新規指定について ※非公開案件

議事に入る前の確認事項

本議案について、事業者自身や従事者等に関する人員、設備、運営等の内容が含まれており、公開することにより当該法人の権利・競争上の地位、その他正当な利益を害する場合は、「平塚市介護保険運営協議会規則 第5条 ただし書き、その他会長が特に必要と認めたときは、協議会の議決により、公開しないことができる」の規定により、報告3及び議案1は非公開とする。

Ⅲ その他

事務局からの報告

- ・ 高齢者福祉計画（介護保険事業計画＜第7期＞）アンケート調査結果について資料5に基づいて事務局説明。

《質問・意見》

特になし。

次回の運営協議会の開催は、7月下旬を予定している。

平成29年度については、高齢者福祉計画（介護保険事業計画＜第7期＞）作成のため、年間5回の開催を予定している。

Ⅳ 閉会